

【平成27年度 議会報告会 市民アンケート】

1. 都市環境委員会議会報告会（三郷駅周辺の問題について）

問：三郷駅周辺まちづくりについて、具体的に進む時期にきているのではないかと？どういう方法・手法（市街地再開発か、区画整理か）かを具体的にしてい意見を問うことも必要ではないのか。

答：地権者を主体とした三郷駅周辺まちづくり協議会と市では、引き続き計画づくりを進めているところです。その中では、事業の整備手法など検討されているとのこと。現段階の基本構想から、より具体的にになった段階で、地域の方々の意見を聞く機会を設けると聞いています。

問：若い人の意見を聞く機会を設けていただきたい。

答：今後は、若い人を含めより多くの人々の意見を聞く機会を設けるように市や協議会に働きかけたい。

問：何十年かかり進まなかったのは何故か？他駅は何故進んだのか？

答：過去には、地域懇談会を開催し検討を行ってまいりました。議会においても特別委員会を設置し議論してきたところですが、三郷駅周辺は古くから街が形成されたことにより、課題が多く具体的な動きに至らなかったものと思います。一方、印場駅や旭前駅については、周辺を含め区画整理事業により整備されました。また、尾張旭駅につきましては、周辺が農地であったことから整備が進んだものです。三郷駅以外の三駅につきましても、計画が持ち上がってからある程度の時間は要しています。

問：三郷駅周辺開発について駅前広場（ロータリー）は最低必要と思う。「あさび一号」で三郷駅に行っても少し歩くため高齢者には辛い。名鉄のウォーキングに参加して色々な駅に行くが、「太田川駅前開発」など色々な駅前開発の様子を視察すると良いと思う。

答：市営バスなど乗入れることができる駅前広場の整備は必要と考えています。地権者を主体とした三郷駅周辺まちづくり協議会では、これまでに名古屋市内の駅前再開発などの視察をされています。今後につきましても、先進事例の視察を実施すると聞いております。

問：三郷駅周辺基本構想とうたいながら、「コンセプト」「何が課題か」「どうしたいのか」「住民のメリットは何か」等が明確ではない。

答：三郷駅周辺まちづくり基本構想は、地権者を主体とした三郷駅周辺まちづくり協議会の意見を最大限に反映したものです。そのため、現在、地域の方々の意見や事業手法なども含め、課題や地域のメリットなどを整理し、具体的な計画案の作成が進められているとのこと。

問：三郷駅周辺まちづくりについては重要。現状の名鉄瀬戸線三郷駅始発が減少しているが、尾張旭駅始発を三郷駅始発に戻し駅を改築する。

答：三郷駅周辺のまちづくりでは、三郷駅の改修も含め名古屋鉄道株式会社と協議をする機会もあります。三郷駅始発についても名鉄に提案するように市に働きかけたい。

2. 福祉文教委員会議会報告会（健康について）

問：地域包括ケアシステムの構想とロードマップなど、高齢者福祉に関する本市の状況をもっと市民に告知してほしい

答：要介護状態になっても住み慣れた地域で生活ができる体制を構築していきます。平成25年度から、瀬戸旭医師会と連携し、在宅でも医療と介護が受けられる体制づくりを進めています。平成28年度には、生活支援コーディネーターの配置をするなど、平成29年度の介護予防・日常生活総合支援事業（新しい総合事業）の開始に向けた準備を進めています。

問：「健康指標」に使えるものを創意工夫してはどうか？（総務委員会でも同様内容あり）

答：本市では、健康都市プログラムに基づき、さまざまな施策を進めてまいりました。今後の健康都市づくりを推進するうえで、市民にわかりやすい数値を明示することも重要であると考えております。データの分析や傾向の把握など、成果の数値化について研究を進めてまいります。

問：皆が歩く街、近くに森林公園植物園に向かうインセンティブを考える。入園ポイントや、1年間散策道の要所にスタンプ所を設けポイント数で次年度パスポート無料券の発行をする。

答：本市では、健康都市づくりの取り組みとしてウォーキングを推進しており森林公園の東門や南門を巡るウォーキングコースや山辺の散歩道などがございます。また、ウォーキングイベントに参加したり、市内ウォーキング

コースのチェックポイントでクイズに答え、ポイントを貯めて記念品と交換できる「歩っとチャレンジウォーキング」では、楽しみながら、ウォーキングに取り組んでいただいております。

問：歩道の段差解消、もっとはやく進めてほしい。

答：本市では、健康都市づくりの取り組みとして、道路・歩道の整備、段差解消なども重要な施策であると考えております。

問：参加者にポイントを与え、あるポイント数を得たら、植物園入園パスポート、文化会館有料イベントへの招待状などでインセンティブを増やす。

答：本市では、ウォーキングイベントやラジオ体操講習会などに参加された方にポイントを付与する「あさひ健康マイスター」を実施しております。今後、当該事業の充実、インセンティブ等の検討を進めてまいります。

問：富里市のジョイントスクール構想で小中の接続が具体的にいかがであったか説明がなかったが、私はTVで「福井県が統一テストで毎年トップの成績をとっている背景は小学校でも教師が科目別担当制になっている（国語の先生が理科、算数も担当しない）。算数・数学では小中の教師がジョイント制。教師間で研究会が出来ている。」を聞きました。このようなジョイント担当制度の方が教師サイドも歓迎でないでしょうか。教育行政サイドが尾張旭だけで実行できないと壁が出て来るかもしれませんが、是非とも尾張旭の児童生徒にも、このような基礎教育を受けさせていただけるようお願いします。

答：ジョイントスクール構想の理念にある、小中間の滑らかな接続のために、本市においても小中学校で子どもたちの交流や、学習スタンダード・指導スタンダードを作成し、共通のスタイルで指導をしております。

提案していただいた、教科担当による児童生徒への基礎教育につきまして、本市では、全国学力・学習状況調査を受けて、スタディビジョン検討委員会で分析をし、課題や指導法についてまとめたものを全教員に配布し、指導に役立てています。また、少人数指導の充実のための人的配置、スーパーバイザー事業や各種研修事業により、教師の力量向上を図っております。加えて愛知県では小中学校間で教員の異動があり、それぞれの段階における課題についての理解を進め指導に役立てています。これらの取り組みを進め、より良い授業を行っていきたいと考えます。

3. 総務委員会議会報告会(市議会・議会報告会・その他について)

問：報告会ではなく市民との意見交換会にしてほしい。今回のようにテーマを絞られると意見が言いにくい・・・

答：市民との意見交換会を議会として検討していきたい。

問：きめ細かい情報発信の必要性を強く実感し、このような報告会も有効である。もっと多くの若い人の参加があると良い。

答：若い人が、参加できる内容に今後検討していきたい。

問：昨年に比べ、今年は進歩していると思います。更にテーマ毎に多くの地域で市民の意見交換の場が出来ると有難い。例えば、学区毎の公民館や集会所毎に年2回～3回の開催を・・・。

答：貴重なご意見ありがとうございます。

校区別会場として、今後、公民館や集会所も視野に入れて検討していきたい。

問：公園のベンチが防災用に使える型になってましたか？

答：都市整備課が所管しております都市公園のベンチは、災害時に使用できる「かまどベンチ」にはなっておりません。ただし、平成27年度に旭前城前土地区画整理事業地内に整備した砂川公園には「かまどベンチ」を試験的に1基設置した例があります。